

命を守る自助の取組

～家具類の転倒・落下・移動防止対策をしよう～

概ね10階以上にお住まいの方は、従来の転倒・落下防止対策に加え移動防止対策も行うことが大切です

① 安全空間の確保（家具の配置などを工夫する）












《ポイント》

- ・ 避難の妨げとなる場所（出入口付近、廊下、階段等）には家具を置かない。
- ・ 寝室や幼児・高齢者がいる部屋にはなるべく家具を置かない。
- ・ 地震時の出火を防ぐため、火気の周辺に家具を置かない。
- ・ 家具の上にガラス製品等落下すると危険なものは置かない。
- ・ 重いものを下の方に収納し、倒れにくくする。

② 家具の固定

《ポイント》

- ・ 家具をL型金具などで壁に直接ネジ固定する方法が最も効果が高い。
- ・ 家具の上部と天井の間に、ポール式やすき間家具などで家具を固定する場合は、ストッパー式や粘着マット式を併用すると効果が高くなる。
- ・ ポール式の場合は、天井に下からの突き上げに耐える強度が必要で、強度がない場合は、当て板等で補強する必要がある。
- ・ マット式やストッパー式の器具の単独使用は効果が小さくなります。家具の重量、奥行きなどの条件によつての違いはあるが、一般に大きな家具には適していません。

使用条件	器具の効果				
	小				大
単独使用	ストッパー式  マット式 	ポール式 	L字金具 (スライド式)  ベルト式  チェーン式 	(上向き取付け)  プレート式 	(下向き取付け) 
組合せ使用	家具と天井に十分な強度が必要		家具、壁面や器具に十分な強度が必要		
	ポール式 + マット式 		ポール式 + ストッパー式 		

【転倒防止器具の効果】→

《特に重要なポイント》

- (1) 寝ている場所 (2) よくいる場所 (ダイニング、キッチン、子供部屋等)
- (3) 避難経路は、家具や家電製品が倒れてこないようにする